

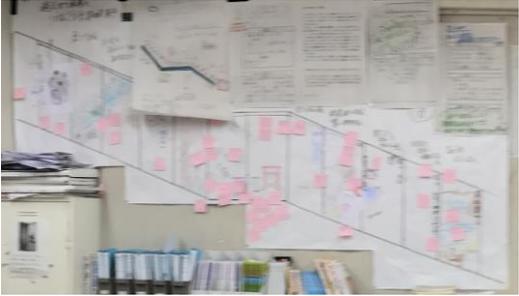
①事業実施報告書詳細

学校名 横浜市立平沼小学校

小单元名 「4-1ウォールアートを制作しよう！」

時間数	場所	概要	活動記録（写真）	対象者の反応
1	教室	<p>「4-1のウォールアートのテーマを決めよう。」</p> <p>自分たちの伝えたいものは何なのか考えた。1年間の社会科の学習を通して、「まちの人はこのまちを良くしよう」といろいろな活動をしている。その想いは、今も昔も変わらないからこうして、大好きなまちになっている。そして、そのまちをもっとよいものにしよう自分たちがこうして学習している。」ということに気づき、テーマが「変わらない想い 未来へつなごう 平沼のたすき」となった。</p>		<p>自分たちの1年間の学習とつなげて、テーマが決まったことがとてもうれしそうだった。</p> <p>テーマを決めたことで、自分たちの解体デザインが明確に見えてきたようだった。</p>
2 ・ 3	教室	<p>「ウォールアートのデザインを考えよう」</p> <p>テーマに沿ったデザインを考えた。ウォールを「過去」「現在」「未来」にストーリーを分けて、人々がタスキで想いをつないでいる様子を表すことに</p>		<p>過去の自分たちの町の様子についてもっと知りたいと考ええるようになった。自分たちで、図書館やまちの遺産に出</p>

	<p>なった。また、具体的にどんな人や建物などを描くかについて考えた。</p> <p>自分たちの住んでいる現在の平沼の様子については、大好きなお店や、お世話になっている人などの具体的に描いていけそうなものが上がった。</p> <p>しかし、昔と未来はどんなものがよいかについては、「昔のことがわからない」ということでもう少し調べたいということになり、社会科の「郷土史」の学習と絡めて絵を具体的にしていくことになった。未来については、自分たちの考える理想の未来を具体的に話し合うことになった。</p> <p>【社会科の郷土史の学習と関連させた：10時間】</p> <p>社会科の学習から、過去の平沼のまちについての様子が明確になりデザインのアイデアがまとまった。</p>		<p>向いて取材していた。</p> <p>未来については、これも社会科の学習で学んだ、「環境」「平和」「安全」などの言葉からイメージをもつことができた。現在の部分については、概要の通り。</p> <p>子どもたちは、大作ができるようだととてもわくわくした様子だった。学びがどんどん主体的になっていった。</p>
--	--	--	---

<p>4 ・ 5</p>	<p>教室</p>	<p>「ウォールアートのイメージ絵を描こう」 テーマや、イメージ案に沿って、自分たちでイメージの絵を描いた。過去、現在、未来の3グループに分かれ、前時までに出たアイデアを具体的に絵にする活動を行った。教室に、実際の2分の1スケールの模造紙を置き、その上に画用紙に描いた絵を置いていく作業をした。</p>		<p>児童によって絵の技能に差があり、なかなか筆が進まない子どもたちもいた。また、児童一人一人で、描きたい部分、描きたい絵にしていたので、全体的にバランスが悪いと言っている児童がいた。</p>
<p>6</p>	<p>教室</p>	<p>「自分たちのデザインの課題を見つけよう」 前の時間に作ったイメージ案を見て、課題を見つけた。 ポストイットを使い、具体的な改善案を記入していた。 課題を解決していくために、次時は地域に住むプロデザイナーの方に来てもらうことになった。</p> <div data-bbox="472 1002 981 1326" style="border: 1px solid green; border-radius: 20px; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>地域の方に、助成金で購入したアクリル板を、希望の大きさに切ってもらうお願いをしにきました。</p> </div>	 	<p>今までは、描きたいテーマに対して自分の思いだけで絵を描いていたが、こうして大きなものに描いたことにより、具体的な改善点が見つかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマが伝わりにくい ・絵の大きさがバラバラ ・背景はどうしたら？ ・人の描き方が難しい ・この細かい絵で、見栄えはどうなるのか。

<p>7 ・ 8</p>	<p>教室</p>	<p>「デザイナーの方に、上手なイラストの描き方を教えてもらおう」</p> <p>前時にでた、課題の解決方法について、デザイナーの方にアドバイスをもらった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人と建物をわけて描く ・絵の中心の伝えたいものは何なのかを考える。 ・簡単なイラストの描き方（イラストとは） <p>まずは、テーマに沿った全体のデザインを再構成した。（資料参照）</p>		<p>自分たちの課題をデザイナーの方に伝えたところ、大きな絵でメッセージ性を持たせる描き方を教えてもらえた。</p> <p>子どもたちは、その意見をもとにデザインの再構成を行った。</p>
<p>9 ・ 10 ・ 11 ・ 12</p>	<p>教室</p>	<p>「アドバイスを生かして、ウォールアートを描こう」</p> <p>デザイナーの方に教わったことを生かして、絵のサイズをなるべく同じようにして、画用紙に描いていった。描きあがったところで、デザイナーの方に彩色の仕方を教わった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マーカーの使い方 ・色を塗る順番 ・イラストに彩色をつけるポイント 		<p>前時の学習を生かして、全員が上手に絵を描けるようになった。マーカーを塗る際には</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マーカーの方向をそろえる ・鉛筆の線の上の黒い部分は最後に黒マーカー ・暖色系→暗色系 <p>に気を付けながらぬることができた。</p> <p>すべての絵が完成し満足していた。</p>

<p>13 ・ 14</p>	<p>校 内 ス ペ ー ス</p>	<p>「ウォールアートのアートシールを印刷してカット ィングと絵を配置しよう」</p> <p>プリンターを使って、A3シールラベルシートにカ ラ印刷を行った。出来上がったシートからはさみで 切っていた。事前にデザイナーの方にアドバイスを もらっていた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・輪郭の5mm周りを切ること ・1枚の絵の中にも花びらや、動物など切り離して も近くにあれば絵として伝わるので切ってしまう って構わないこと。(要はシートの部分になるべ く白い部分を残さない。) <p>切れたものから実際にアクリル板に配置した。</p>		 <p>完成の姿が目に見えたこ とで、とても盛り上がってい た。シールの上手な貼り方を 調べてくると話していた。</p>
<p>15 ・ 16</p>	<p>教 室</p>	<p>「シールを貼って絵を完成させよう」</p> <p>はがれないシールの上手な貼り方につい て、自分たちで調べてきて確認していた。 グループに分かれて前時に印刷したシー ルを貼る作業を行った。</p>		 <p>全員がとても集中して作業 を行っていた。完成したとき は大きな拍手が起こった。</p>

17

校
外

「ウォールアートを設置してもらおう」

シールを貼り終わり、完成したアクリル板を土木事務所の方に設置をしてもらい、完成を見届けた。

お世話になった方にお礼のお手紙を渡し、完成を祝った。



子どもたちが、お世話になった人にお礼をしたいということで、手紙を書いていた。

設置後地域の方が、たくさん足を止め子どもたちの作品に見入り、子どもたちに「ありがとう。」と話しかける場面も見られた。

子ども達も達成感を感じていた。

②学習指導案

単元名 (全50時間)	「まちのウォールアートを作ろう」 ～今も昔も変わらない想い 未来へつなごう平沼のたすき～
学習のねらい	まちの景観をよくするために自分たちにできることを考え、ウォールアートを作る活動を通して、まちの人の思いや、自分のすむまちへの愛情をもてるようにする。
学習内容	1「4-1の総合学習はなにをしたらよいだろう」 2「ウォールアートの許可をもらおう」 3「ウォールアートのデザインを考え、作ってみよう」 4「ウォールアートを設置しよう」
参考資料	参考資料：なし
準備品	準備品：アクリル板 マーカー 画用紙 シールラベル (A3)
実施場所等	教室、校内スペース、地域

単元構想

大好き平沼のまち ～まちのウォールアートを作ろう～（『総合的な学習の時間』50時間）

1 4-1の総合をスタートさせよう（12）

- 自分たちのやりたい総合学習について意見を出し合う。
- 自分たちの総合学習への想いをもつ。
- 自分たちの想いが具現化できそうな材を選ぶ
- 具体的な学習計画を立て、「ゴールを設定する。」

- ・平沼のまちへの想いを込めた何か形に残るものを作りたいな。
- ・自分たちのアイデアが実際に実現したらすごいな。

対象と出会う

2 どんなウォールアートをつくれればいいのだろう。（12）

- ウォールアートとはどんなものだろう
- ウォールアートでどんなものを表現したらよいか
- まちに出て地域の人に取材しよう。
- 自分たちのウォールアートのテーマを決めよう

- ・ウォールアートっておもしろい。
- ・地域に人の想いってすごいな。
- ・私たちの地域は昔から地域の人が一生懸命作ってきたんだね。
- ・自分たちのテーマを盛り込んで、どんなアートができそうかな。
- ・どんな絵があったらいいのかな。
- ・平沼のまちを表現したいな。

学習問題をつくる

3 ウォールアートを作ろう。（18）

- 自分たちでアイデアを出し合う。
- 平沼のまちのよさについていろいろな人に聞いてみる。
- どんなデザインができそうか考える。
- どんな材料をつかえばよいか考える。
- 一度アイデアをデザイナーの方に提案してみる。
- もっとよくするためにはどうしたらよいか考える。
- 再度デザインする。

- ・いろいろなところにこだわらないと完成しなさそうだ。
- ・平沼のまちの人は平沼のことが好きなんだね。
- ・平沼のまちのイメージを絵にできたよ。
- ・人に見せる作品にするということは、色々とハードルが高いんだね。

追究する

4 ウォールアートを完成させよう（8）

- 絵をシールにして、大きさを合わせて切ろう。
- シールを貼って完成させよう。
- ウォールアートを設置してもらおう。
- 学習の振り返りをしよう。

- ・私たちがまちの景観が作れたなんてすごい。やってよかった。
- ・私たちが育って卒業していく平沼のまちが改めて好きになったよ。これからも大切にしよう。

学びを生かす

③ 実施内容について

<p>(1) 実施にあたり工夫した点</p> <ul style="list-style-type: none">・子どもたちの学習が総合学習と他の学習がつながるように、いろいろな学習のカリキュラムマネジメントを工夫した。特に、社会科の学習とのつながりを意識した。・当初の予定であれば、ペンキを使って絵を描く予定だったが、金額との兼ね合いから、耐水シールを使った。・プロのデザイナーの方とかかわり、景観としてふさわしく、メッセージ性があり、意味が伝わるものを作った。
<p>(2) 実施にあたり苦労した点</p> <ul style="list-style-type: none">・公的機関に許可を得ること。特に、土木事務所の返答が二転三転して苦労した。・アクリル板が高額であったこと。（助成金があつて大変助かりました。）・子どもたちの絵の技能がまちの景観として耐えうるものか。（プロの方と関わってよかったです。）・施工費用がかかった。アクリル板を切ったり、穴をあけたりする作業は子どもではできないので業者をお願いしました。（助成金があつて大変助かりました。）
<p>(3) 児童の反応</p> <ul style="list-style-type: none">・まちにたいして、貢献できたと実感していて、達成感にあふれていた。・この活動を通して、あらためて地域に対する強い愛情をもっていた。・ウォールアートが完成に近づくたびに、次の時間はどのように活動しようかと主体的な姿はどんどん大きくなっていった。・自分たちで見つけた課題に対して、自分たちの力で解決しようと調べたり、実践したりする姿が多く見られた。
<p>(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化</p> <p><u>担当教諭</u></p> <p>この総合学習を通して、あらためて地域の中にある学校だということ、子どもたちはあたたかい地域に育てていただいていること、そして、そらにこの地域に貢献できるような人材をいろいろな教育活動で育てていかなければいけないと考えるようになった。</p> <p><u>担当外教諭</u></p> <p>子どもたちの学習が進むにつれ、いろいろな先生方の関心も強くなり、どのように子ども達の思考をつなげて主体的な学びができているのかと、興味をもつようになった。</p>
<p>(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕</p> <ul style="list-style-type: none">・総合学習の永遠の課題でもあるが、いかにして子どもたちが材と出会いその材に対して主体的に学べるように教師が仕掛けるか。そのためには、綿密な単元計画、活動計画を教師が行い、子どもたちが解決したい課題として気づけるように意図的に毎時間のしかけを行えるか。つまり、子どもたちは主体的に自分たちの課題を見つけ、教師はその課題を前もってみつけ、出会わせるというアプローチが繰り返されることが大切だと考える。